



- 介護ロボットの県内初導入をリード
介護職の人手不足や負担の軽減に役立つと期待される、介護ロボットのモニターテストが県立寿楽苑で実現
- 公共工事のダンピング対策と設計労務単価の向上により、県の公共工事の予定価格を、国の基準にあわせる見直しが進む
- 建設業の現状と若年労働者の確保・育成を訴え、官民あげて若手労働者の育成に取り組むことを提案し、工業高校生などの建設現場見学会の実施等が推進される
- 県強靱化推進本部設置へ
大規模な自然災害が発生した時、「起きてはならない最悪の事態」を回避するため、知事を本部長とする「県強靱化推進本部」を設置。全庁体制で県土の強靱化計画策定に取り組むことや、交通・物流、エネルギー、情報通信、医療、ライフライン、市町村、自治会関係者などで構成する「県強靱化有識者会議」を設ける等、全国に先駆けた取り組みが推進されることに
- 来年度に再開される未来会館周辺の駐車場の拡充
未来会館西側に新たに約180台分の駐車場を整備
岐阜メモリアルセンター周辺駐車場が1,930台分に拡充されることに
- 介護マークの配布開始
公明党岐阜県本部女性局と連携し、知事へ予算要望し実現。
認知症の介護は、他からは介護していることが分かりにくく、トイレの付き添いの際など、誤解や偏見を持たれる。
介護中であることを周囲に理解してもらう「介護マーク」を作成、市町村窓口などで配布
- 女性の活躍支援モデル構築を推進
岐阜で活躍する女性の紹介や交流会の開催、ポータルサイト構築のための補正予算が実現
- 難病対策地域協議会設置へ
難病患者の声を踏まえたQOLの向上や療養生活の支援に向け、地域の医療機関、市町村、学校関係者、就労支援機関などの関係者が、地域における課題などを共有し、きめ細かな支援をするため、保健所ごとに「難病対策地域協議会」を設置



水野よしちか HPも是非ご覧ください。



ご意見・ご要望・ご相談 お寄せ下さい

行政への要望や生活相談など、お気軽にお寄せ下さい。法律相談のご紹介もします。

TEL/FAX) 058-215-8195
E-MAIL) yoshmzn@gmail.com



朝の街頭演説実施中!

以下の場所で、街頭演説を実施しています。見かけたら声を掛けて頂ければ幸いです。

- 月曜日……国道256号線と環状線の「福光東2東」交差点 AM8:00～
- 火曜日……マサ21前の「正木古川東」交差点 AM8:00～
- 木曜日……忠節橋を南進。西野町交差点 AM8:00～
七郷小学校北側の交差点 PM4:30～
- 金曜日……西 岐 阜 駅 前 AM7:30～



高山市高根町クロスカントリーコース

ごあいさつ

清流ミナモ

朝晩冷え込む季節となりました。皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

8月の集中豪雨による土砂災害、9月の御嶽山噴火、10月の相次ぐ台風上陸などにより自然災害の脅威をあらためて感じる数ヶ月となりました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

初当選から3年半が経過し、皆様からのご意見ご要望を、県政発展のために生かすため、今日まで全力で議員活動に取り組んでまいりました。今回の第13号では、これまでの取り組みをご報告させていただきます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 水野吉近

難病対策地域協議会設置へ

10月2日、私は第4回岐阜県議会定例会の代表質問で、来年1月から指定難病が大幅に拡大されることを受け、難病患者の声を踏まえたQOLの向上や療養生活の支援に向けた、難病対策の強化を訴えました。これに対し健康福祉部長から、地域の医療機関、市町村、学校関係者、就労支援機関などの関係者が、地域における課題などを共有し、きめ細かな支援を実現するための話し合いの場として、保健所ごとに「難病対策地域協議会」を設置することを表明しました。

また難病患者が必要とするサービスを受けられるよう、個々の心身の状況を十分に考慮した、公平・公正な障害者支援区分の判定、要介護認定の実施に向け、引き続き市町村担当者や認定調査員、主治医を対象とした研修を充実するとの答弁がありました。

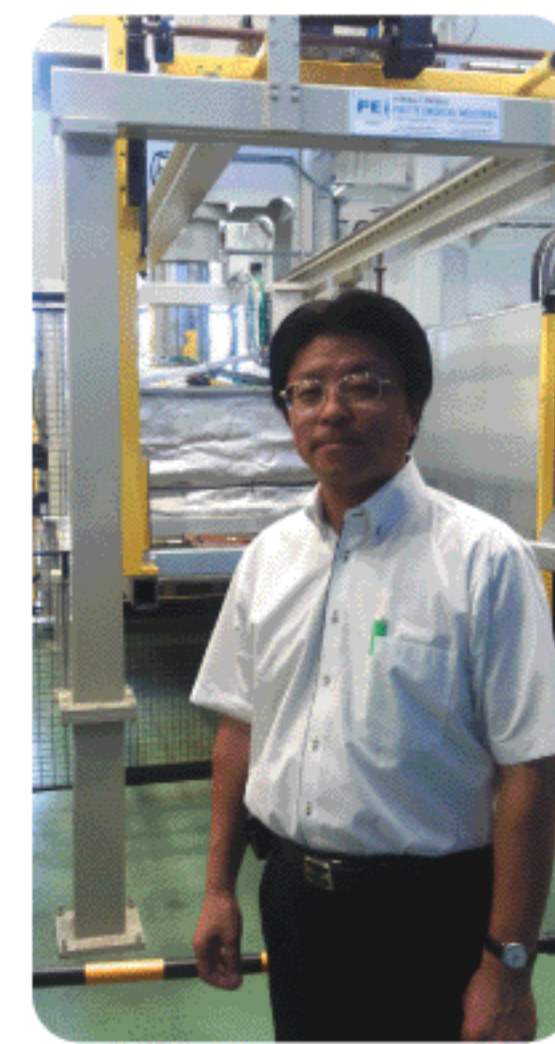


県議会企画経済委員会の県内視察を行いました

私の所属する企画経済委員会では、以下の視察を行いました。

■8月21日～22日

- 関 市…(株)光製作所関工場(宇宙開発プロジェクトの特殊製品制作の工程視察)ぎふ技術革新センター(企業との共同研究など産官学連携活動拠点視察)
- 高山市…飛騨高山まちの博物館(高山市の観光政策、高山の魅力発信について)飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア視察
(標高1200mから2200mに位置し、高地ならではの低酸素の状態で、陸上競技選手を中心に身体能力を高めるトレーニングができる場所として、岐阜県、高山市、下呂市が全国のトップアスリートや競技団体に、誘致を推進。文部科学省指定のナショナルトレーニングセンター拠点施設)



(上)ぎふ技術革新センターにて

(左)標高1300mにある全天候型トラック